

- 入所系の社会福祉施設等は、クラスター発生時においても継続運営が必要
- 特に、職員が陽性患者又は濃厚接触者となり、勤務が困難になった場合の応援体制確保が重要
→府と施設団体との連携により、入所施設等の継続運営のための応援職員派遣スキームを構築
- 8月27日に（社福）大阪府社会福祉協議会及び（公社）大阪介護老人保健施設協会と協定を締結し、応援協力施設の募集を開始

基本的な考え方

- **法人・施設の事前準備の徹底** 感染予防の徹底や、感染発生時を想定した人員確保等に関する事前の検討 等
- **応援職員の安全・安心の確保** 感染リスクの低い施設（エリア）での支援が原則、応援終了後のPCR検査 等

派遣スキーム

